

# コケモモ

*Vaccinium vitis-idaea* var. *minus*

ツツジ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



種  
子  
植  
物

火山山頂帯の風衝地に生える高さ10cm前後の常緑の小低木。九州では「九重火山群」の山頂帯だけに分布する。茎は細く、わずかに分枝し、基部は長く地中をほう。葉は革質，上面は深緑色でつやがあり，下面は淡緑色。花は鐘形で白色～淡紅色。実は径6mmくらいで丸く，赤く熟す。山頂帯の生育地は，大雨による侵食で自然崩壊している所があり，また，登山者による踏みつけや採取で，生育環境の悪化や減少が懸念される。

(写真：瀬戸屋耕二 文：生野喜和人)

県内分布 九重火山群

分布域 北海道，本州，四国，九州（大分）

母種ヒロハコケモモは朝鮮半島，千島，樺太～北半球寒帯～高山帯

国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]